

あったかいが いいね

シャローム横浜通信 6月号



新たな取り組み

シャローム横浜の中庭にある藤棚や君子蘭が見頃になり、デイスービスに來られてるご利用者や、面会時のご家族の目を楽しませてくれています。このように中庭を散歩する姿を頻繁に見るようになり、過ごしやすい気候になったことを実感するとともに、ご家族間の交流ができるようになったことに感謝しております。

新年度に入って、シャローム横浜では新たな取り組みを進めています。まず初めに面会について、コロナ禍では2階フロアのみで面会でしたが、昨年度からは各フロアでの面会に移行しました。この1年間は各フロアで起こった様々な課題を一つ一つ解決してきましたが、今年5月19日(月)より予約制を廃止し、従来通りの面会時間である月曜日・土曜日の14時～16時の間は制限なく自由に面会できるようになりました。これによって、現場職員はご家族との「なじみの関

係」をより構築しやすくなり、ご家族と一緒にケアを提供する関係性を築きたいと願っております。

次に6月より食費と送迎などの実費部分の値上げを、安定したサービス提供継続のために実施することとなりました。食費の値上げは利用料に反映するため、大きな影響が考えられます。そのため、家族会を開催して説明を行いました。今後も繰り返し説明を行うことで、ご利用されている皆様にご理解をいただくながら進めてまいります。

これからも、誰もが安心して利用できる介護サービスであり続けるために、目の前にあるニーズに誠実に対応することを大切にしていきたいと願っております。

施設長 高原 信夫



4月5日土曜日、春のお花見会を開催しました。

青空の下、桜の木の下で、入所者の皆様と共に楽しいひとときを過ごしました。お菓子や焼き鳥、ノンアルコールビールを味わいながら穏やかな春の風を感じました。桜の木の下で飲むビールは美味しかったでしょうね。

美しい桜の花に囲まれて、笑顔あふれる時間となり心温まる素敵なイベントになりました。

私達職員も皆様の笑顔で癒されました。春の訪れを感じるこの機会は、入所者の皆様にとって思い出に残るひとときになったと思います。

特養3階 副主任 ズルハム リトンガ



第298号

令和7年5月15日発行
(毎月1回 15日発行)

責任者：施設長 高原信夫
〒241-0802
横浜市旭区上川井町
1988
アドベンチスト福祉会
シャローム横浜

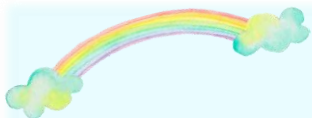
編集委員

荒金・石川・石橋・加藤
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



あったかいが
いいね



横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業



私たちは横浜市よりこの事業を受託させていただき、市営ひかりが丘住宅で登録制の見守り訪問と電話等、月に1回か週に1回の見守り対応を行っています。また、週に1回市営住宅の集会所でお茶飲み会と脳トレを行っています。

2014年にモデル事業として、私たち市営ひかりが丘住宅でこの事業がスタートし、今では11の事業所が横浜市より委託され、生活援助員が日々、高齢者の見守り業務などを行っています。

市営ひかりが丘住宅 生活援助員 溝口成一



5月は栄養課主催の行事でピザパーティーを開きました。

当日は五月晴れに恵まれ、久しぶりにピザ窯でピザを焼く事ができ、入居者の方にも喜んで召し上がっていただきました。

今回のピザのメニューを紹介いたします。

- ・照り焼きチキンピザ
- ・釜揚げしらすのジェノベーゼ

来月の行事は、海鮮丼です。

栄養課課長 小寺秀偉



「人こそ社会福祉の基礎」

第206回 チャプレン 上前 至

40年程前の私の経験です。その場所は、米国デトロイトであったような気がします。私は食べ物を買おうとして、丁度、道の側にあったドラッグ・ストアに立ち寄った。今日の日本でも、ドラッグ・ストアにいけば薬だけではなく、食物や日用品も手に入る便利な店になっているが、当時の私には、薬屋さんで食べ物を買う事は、初めての経験で楽しい時間を持つことができ、そこから出ようとした時だった。その出口のドアの大きな写真入りポスターが目に入り、その下に書かれている文字を見た時、人間にとって必要な事はどの国でも同じなのだなと、腑に落ちたのである。その写真にはニッコリしたおばあさんが映っていて、下のほうにこう書かれていた。

“Independence doesn't mean alone” と。

訳して「独立は孤立を意味しない」と言ったことであろうか。INDEPENDENCE の言葉は米国において

とても大きな意味を持つ言葉である。それ故に米国では今も7月4日を独立記念日として祝っている。しかし、その独立は社会的孤立を意味してはいないというのである。それは、人と人との関わり、交わり、助け合いを前提としており、それがあって始めて人は独立、自立が成り立つというのである。この写真のおばあさんも、家族との交わり、支えがあって始めて幸せな独立、自立生活が送れるという事を教えているのである。そして私は、そこに社会福祉の基礎もあり、人と人との関わり支え合いがあってこそ、始めて社会福祉は成り立つのであり、そのことは世界中どこでも変わらない事に気づかされるのである。

